

## 三菱電機ロジスティクス労働組合 第59回定期大会 報告

8月27日（土）、第59回定期大会を開催しました。

第58期の活動を確認するとともに、次の一年に向け運動方針の補強案を提案し、すべての議案が可決・承認されました。

また今回の定期大会についても昨年同様コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンライン開催を行いました。

### <委員長挨拶>

本日はお休みの中第59回定期大会にご参集いただき感謝申し上げます。

定期大会開催にあたり、この一年間を振り返るとともに今期の活動方針に触れご挨拶を申し上げます。

まず初めに、新型コロナウイルス感染拡大により、今定期大会についてもオンラインでの開催となり大変申し訳なく思う。このような状況下で強行に開催することは得策ではなく、各位の感染リスク等を考えるとオンラインでの開催が良いとの判断に至った。本来、組合活動は顔を合わせた活動が大事だと重々承知しているが、代議員各位のご理解をお願いしたい。

まずは、第58期の活動を少し振り返りたいと思う。

本年7月に行われた第26回参議員選挙における矢田わか子さんの支援活動へのご協力に対し、この場を借りて感謝を申し上げます。結果については、ご承知のとおり落選という残念な結果となってしまった。現在、電機連合ならびに三菱電機労連において、全体の取り組みの分析・検証が行われているが、当労組でも何らかの機会に上部団体の分析・検証の結果を振り返ることが必要であると感じている。

世間一般の国民民主党への理解が進まない中で、支援者紹介活動については今回からは紙ベースではなくインターネットを使った活動となり、また、コロナ禍が続く中で従来通りの動きがとれない中で各支部・分会にご苦勞を掛けた。当労組の最終登録者としては前回の参議院選挙時の実績には届かず、本部からの取り組みへの協力要請に反省する点もあるが、各支部・分会、職場による取り組みに温度差、濃淡があったことも事実であり、労働組合活動における社会活動のあり方について、日頃からの取り組みを充実させる必要があるのではないかと感じている。第26回参議院選挙の振り返りなどについては、今後上部団体の検証結果をもって行うこととしたい。

次に2022年春季交渉について触れたいと思う。新体制での交渉となり、これまで以上に緊張感のある交渉となった。詳細については、後ほどの一般経過報告や先日の支部委員長分会長会議の総括をもって詳細は割愛するが、会社の今次交渉における賃金改善、一時金の集約内容は、組合の最終意思統一の基準を満たしたものであり、交渉経過も含め組合員の理解を得られるものと判断している。9年連続となる賃上げや一時金に対して、会社の英断に改

めて感謝を申し上げたいと思う。

22 年交渉は、先ほども申し上げた通り新体制となった中での労働協約改定や会社提案があるなど多岐にわたる交渉となった。反省点も多くあり、来年の交渉では反省点を改善できるよう取り組みを参りたいと考えている。

渡邊前委員長からもお願いしていたが、現在の一時金は高水準となっており、生活水準を現在の一時金の水準で設定するのではなく、電機連合や三菱電機労連の基準として示している 5.0 ヶ月、産業別最低基準の 4.0 ヶ月を生活の水準としておき、経済環境が悪化した際も生活環境が大きく変わることのないよう再度お願いしておく。当社の一時金は近年高水準で推移しているが、経営環境が悪化した際は、5.0 ヶ月を割るという時代もあった。各支部・分会の役員は集会などを行った際に、組合員の生活環境を大幅に変わることのないよう、一人ひとりの役員が組合員に伝えていくことが重要であり、支部・分会役員の役割として対応をお願いしたいと思う。

次に第 59 期の活動方針に触れておく。毎年、本部役員改選が実施されるため誤解の無いようにお伝えしておくが、今大会は向こう 2 年の活動方針を決める重要な大会である。

コロナ禍により集合開催を 2 期連続で中止してきた。今大会においては、集合開催にて代議員と顔を合わせて論議ができると考えたが、このような状況となり大変残念に思っている。

唯一対面で論議ができたのは経営対策活動であった。労使経営懇談会については、支部・分会の一部を除きオンラインとなったが、中央経営協議会については支部・分会からも出席いただき、会社と対面での論議を行うことができた。

来期についてはまだ白紙の状況ではあるが、現状を見るとオンラインでの開催も視野に入れなくてはならない環境にあると感じている。

議案詳細については後ほど触れるので割愛するが、環境を整えば一つ一つの活動を可能な限り対面で開催したいと考えている。また新型コロナウイルス感染によっては、対面とオンラインの併用も考えたい。しかし、この 2 年以上支部委員長や分会長と対面での会議や組合活動ができず、オンラインのために論議が不十分であると感じている。全員が一つの場所に集合することにより、新型コロナウイルス感染のリスクもあるが、しっかりと感染対策を行い、地区別や事業部別など人数を絞って開催できるよう考えていきたい。また集合開催を実行する際は、可能な限り支部・分会の出席をお願いしたい。

今回の議案の中には、役員改選についても提起している。支部・分会においても本大会以降改選となるが、今期で退任する役員もいると聞いている。退任される役員については、より充実した体制を組織するためにしっかりとした引継ぎ等、新旧の役員でコミュニケーションを取り対応をお願いしたい。ここ数年、新役員が引継ぎを全く受けておらず、どのように活動を進めて良いかも分からないという話も多く聞いている。本部としても新役員に限らず、現職の役員についても今期以降ユニオンセミナーとは別に役員研修会などの開催も

考えている。在任期間の長い役員もいるが、役員研修会を開催する中で本部も含め、初心に帰ったより良い活動にしていきたいと思っている。

今期についてもこれまでどおり皆で力を合わせ、組合員の生活の安定化に向けた労働組合活動を推進していきたいと考えているのでご協力をお願いしたい。

最後になるが、代議員の皆さんの積極的な意見、要望により本部から提起した運動方針について骨太のものとしていただくことをお願いし、大会開催にあたっての挨拶とさせていただきます。

#### <第 59 期役員体制>

中央執行委員長	塚原 直樹 (再任)
中央副執行委員長	守谷 直樹 (再任)
書記長	川島 昂 (再任)
中央執行委員	石橋 隆志 (再任)
中央執行委員	内田祐一郎 (再任)
中央会計監査	滝上 哲 (再任)
中央会計監査	南館 航太 (新任)
前中央会計監査	庄司 伸哉は今大会をもって退任となりました。

以上

#### <大会構成>

代議員定数	30 名
本部役員	7 名